

## 仏教は、すべてのいのちは平等と説いています

仏説無量寿経に阿弥陀仏が48の願いを立てて成就したとあります。

私達は「人の上に人を作らず、人の下に人を作らず」という言葉を知っていますが、本当に自分と相手を平等のいのちとして見ているでしょうか。

阿弥陀仏の第三、第四の願いを読みますと、「私（法蔵菩薩）が阿弥陀仏になれば、私の国の人はずべて光り輝く存在とする。」  
「阿弥陀仏の国のすべての人は、完全平等の存在になり、罪や悪は存在しない」と説かれています。

この世の中は人類皆平等と言いながらそうになっていない世界なのです。

立場が違うとお互いを否定しあいます。どちらもいのちは平等という立場ではなく、社会構造の維持のためにいのちを利用してきます。それが娑婆世界です。

仏陀は人間世界の中で、平等になれないいのちを救出しようと働いているのです。それがなもあみだぶつです。合掌

写真は北野天満宮の梅

